

# 現状の計画骨子と委員意見との対照表

資料5-4

## 【環境の柱2関係】

### 計画素案での記載(現状の計画骨子)

環境の柱	基本目標
2. 3Rの取組みを推進し、循環型社会の構築を目指す	2-1 2Rの取組みを推進する
	2-2 リサイクルを推進する

### 大串和紀委員による修正意見

環境の柱	基本目標
2. 3Rの取組みを推進し、循環型社会の構築を目指す	2-1 <b>リデュース、リユース</b> の取組みを推進する
	2-2 リサイクルを推進する

## 【環境の柱3関係】

### 計画素案での記載(現状の計画骨子)

環境の柱	基本目標	施策の方向性
3. 自然と調和・共存し、良好で多様な水辺と緑の環境を次世代に引き継ぐ	3-1 生物多様性に富んだ生態系を保全する	野生動植物の保全に向けた取組みの推進 多様な生物の生息・生育環境の保全・創出 生物多様性の普及啓発 健全な水循環の確保
	3-2 豊かな緑と水辺を保全・活用する	緑と水辺のネットワークの形成推進 身近な水辺空間の保全・創出及び活用の推進
	3-3 良好な景観を保全・創造する	地域の自然環境資源を保全・活用した良好な自然景観づくり 地域の特性を活かした都市景観づくり 歴史的遺産の保全継承
	3-4 自然とふれあう機会を創出する	自然とふれあう空間づくり 自然とふれあう機会づくり

### 中村俊彦委員による修正意見

環境の柱	基本目標	施策の方向性
3. 健全な水循環が育む生物多様性豊かな環境を次世代につなぐ	3-1 在来・外来の生物種を保護・管理する	在来・貴重生物の保護(ホタルやアカガエル、オオガハスなど) 外来生物の管理・予防(ハクビシンやアカミミガメ、農薬品種など) 有害生物の予防・駆除(イノシシやカミツキガメ、カラスなど)
	3-2 豊かな緑と水辺の生態系を保全・再生する	緑と水辺のネットワークの構築 水源・緑地の保護保全 河川・海岸の環境再生
	3-3 地域の自然・文化が育む景観を保全・創造する	谷津田や里山林の保全再生 都市の公園・緑地の保全管理 歴史的文化的景観の保全創造・整備
	3-4 自然にふれ親しみ学ぶ機会を創出・増大させる	野外観察会や自然誌講座等の開催 学校ビオトープ、エコ体験谷津田づくり等の奨励 自然保護・保全の市民活動団体等への支援

(※環境の柱1関係:事務局にて修正済み……地球温暖化対策推進法の改正を踏まえた文言の修正)

### 修正前

環境の柱	基本目標
1. 地球温暖化対策を推進し、気候危機に立ち向かう	1-1 二酸化炭素排出 <b>抑制</b> に向けた「緩和策」を推進
	1-2 気候変動による影響への「適応策」を推進する

### 修正後

環境の柱	基本目標
1. 地球温暖化対策を推進し、気候危機に立ち向かう	1-1 二酸化炭素排出 <b>削減</b> に向けた「緩和策」を推進
	1-2 気候変動による影響への「適応策」を推進する